

高知中部森林管理署交渉(非現業全国林野関連労働組合四国地方本部大析分会)

議 事 要 旨

1 日時:令和3年12月21日 (火) 17:15~17:45 (30分)

2 場所:高知中部森林管理署会議室 (2階)

3 出席者

高知中部森林管理署	吉良 崇夫	署長
同	坂本 伸一郎	次長
同	迫屋 和久	総括事務管理官
	3名	
全国林野関連労働組合四国地方本部大析分会	川村 栄二	執行委員長
同	萩野 伸二	執行副委員長
同	齋藤 公平	書記長
同	松本 純司	執行委員
同	山中 佑也	執行委員
同	越智 洋	執行委員
	6名	

4 交渉事項

- (1)事業実行に関わる職員の負担軽減、労働条件の改善について
- (2)労働安全の確保について

5 議事概要

当局) ただ今から、林野関連労働組合四国地方本部大析分会から申し入れのあった交渉について、事前に予備交渉で整理した交渉内容等に基づいて交渉を始める。

組合) 近年の豪雨災害等の対応や現地検討会の対応等により、担当者は、災害復旧に係る現地測量や事務等が重なり、職員一人ひとりの負担が増加している

また、主伐・再造林に伴う、皆伐後の植栽業務、獣害対策等の業務が増加するとともに、年々増加する既存の防護柵の点検・補修等の業務も増え、業務が過多となっていることから、具体的な職員の負担軽減策を示されたい。

当局) 豪雨災害及び現地検討会等の対応については、事業関係職員等と綿密な打合せを行う中で優先度等を吟味し、無理の無いスケジュール管理が出来るよう工夫しているところであり、超過勤務の状況把握を確実にを行うとともに、業務分担の見直しを行うなど、業務負担の軽減に努めていく考えである。

なお、主伐・再造林に係る植栽後の獣害対策における防護柵の点検補修等については、請負事業等による対応や無人航空機による点検とする等の対策を検討するなど、引き続き職員の負担軽減に努めてまいる考えである。

組合) 高知中部森林管理署管内は急峻な地形でザレ場・ガレ場が多いことから、複数名での入山の徹底、緊急連絡体制などの安全対策を徹底し、職員の安全確保対策を講じられ

たい。

森林技術員の退職にともなう、森林官の現場業務に係る安全対策を講じられたい。

当局) 昨年まで発生した一人入山に係る行方不明事案等を検証し、これまでの安全対策の一部変更及び新たな事務連絡を発出する等、安全対策強化に職員が一丸となって取り組んでおり、引き続き安全対策に万全を期す考えである。

組合) ダニ刺咬予防対策について、シカ等の野生動物が多く、ダニが多い条件がそろっており、職員のダニ刺されも発生していることからダニ刺咬予防対策を徹底し、職員の安全確保を図られたい。

当局) ダニの刺咬予防対策については、マダニ等刺咬に係る医療機関一覧表を作成する外、効力の強い忌避剤の導入等、対策強化を図っており、今後においても有効な対策等の情報に注視し、職員の安全確保を図っていく考えである。

組合) シカ食害対策として、職員実行による囲い罠等を使用したシカ捕獲業務に係わる安全対策を徹底すとともに、年間通してのシカ駆除が実施されていることから、狩猟者の入林時の連絡を徹底させるなど、狩猟に係る安全対策を行う中で職員の安全確保を図られたい。

当局) 有害鳥獣駆除については、年間を通じて常に実施している現状であり、特に有害鳥獣捕獲・狩猟による銃器の取扱に係る対応については、当年度も引き続き関係団体に対して文書による指導を行うとともに、その関係者には入林申請時点で改めて再指導を行っているところである。

また、職員の事業実行に係る安全確保については、立入禁止区域を設定する際の打合せを十分に行うとともに、必要な時期に適宜更新を図る等、職員の安全確保に万全を期す考えである。